

歴史総合，日本史探究

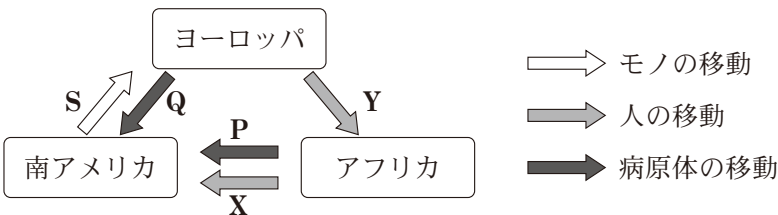
(解答番号 ~)

第1問 歴史総合の授業で，現代的な諸課題の一つとして災害の歴史に着目し，まとめの活動を行った。次の文章A・Bを読み，後の問い(問1～7)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 25)

A 各班で，災害に関して，その要因や開発との関係について考察を行った。

問1 1班は，災害としての疫病，とりわけマラリアに関心を持った。まず，19世紀までのマラリア流行に関して調べ，パネル1を作成した。パネル1に関して述べた文あ～えについて，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

パネル1 マラリアをめぐるモノ・人・病原体の移動



- ・Sは，17世紀前半に，ヨーロッパ人がアンデス地方原産の薬用植物であるキナノキを持ち帰ったことを表す。
- ・Xは，大西洋三角貿易の一部であり，労働力として移動させられた人々を表す。
- ・Yは，キナノキを原料としたマラリア治療薬を有効に活用しながら，アフリカ分割を推し進めたヨーロッパ人の移動を表す。
- ・PとQは，人の移動に伴って，それぞれ異なるタイプのマラリア病原体が南アメリカへ持ち込まれたことを表す。

- あ Yは、Xの開始より前に起こったと考えられる。
 い Sは、Yより前に起こったと考えられる。
 う Pは、アフリカ人が奴隷として送られたことに伴って起こったと考えられる。
 え Qは、コロンブスの西インド諸島到達より前に起こったと考えられる。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

問 2 1班は、続いて、表1を作成し、各国が行った19世紀末以降のマラリア研究について考察した。表1中の空欄 **ア** に入る語句と、 **イ** に入る文との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **2**

表1 各国のマラリア研究に関する動向

国名	時期	研究対象とした地域
イギリス	19世紀末～ 20世紀初め	アフリカやインド
日本	19世紀末～ 20世紀前半	下関条約で獲得した ア
アメリカ合衆国	20世紀初め	パナマ運河開削時のラテンアメリカ
【まとめ】	各国のマラリア撲滅を目指した研究は、いずれも イ ために利用されたと考えられる。	

- ① **ア**—朝鮮 **イ**—自らの勢力圏や植民地を維持・拡大する
 ② **ア**—朝鮮 **イ**—第三世界の台頭に対抗する
 ③ **ア**—台湾 **イ**—自らの勢力圏や植民地を維持・拡大する
 ④ **ア**—台湾 **イ**—第三世界の台頭に対抗する

歴史総合，日本史探究

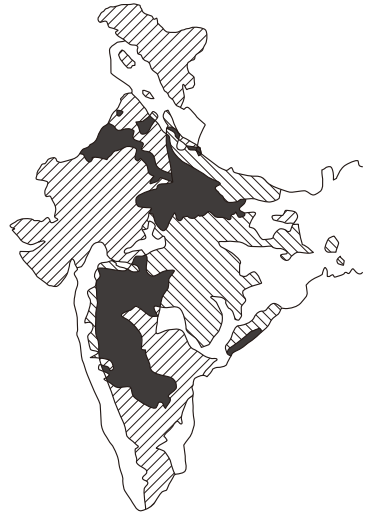
問 3 2 班は，災害の中でも飢饉^{ききん}に着目して，インドとエチオピアの事例について考察し，その内容をそれぞれパネル 2・3 にまとめた。このことについて，後の(1)及び(2)の問いに答えよ。

パネル 2 1896 年～1897 年にインドで飢饉が発生・拡大した要因

- ・大規模な干ばつが発生した。
- ・不作にもかかわらず，穀物の輸出が継続され，食糧価格が高騰した。
- ・困窮した農民層に多くの餓死者が出た。

- ▨ 飢饉が発生した地域
- ▨ 年間降雨量が 1,000 mm 以下の地域
※ 20 世紀半ば以降の数値を参考としている。
- 上記二つが重なる地域

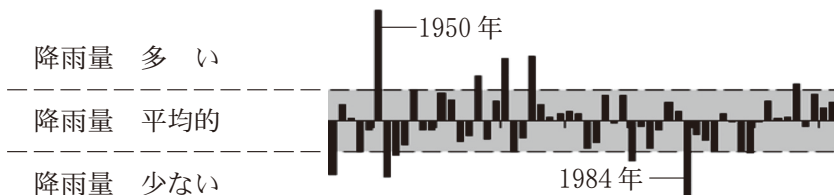
(脇村孝平『飢饉・疫病・植民地統治』より作成)



パネル 3 1984 年～1985 年にエチオピアで飢饉が発生・拡大した要因

- ・エチオピアは，1970 年代から隣国との戦争や国内政治の混乱を抱えており，1991 年まで不安定な情勢が続いた。その影響で，1984 年から 1985 年にかけての飢饉の際に，特に北東地域で被害が拡大した。

【エチオピア北東地域における降雨量の指数(1945 年～2000 年)】



(注) 灰色の部分は平均的な降雨量を示し，棒が灰色の部分より上だと雨が例年よりも多かった年，下だと少なかった年を意味する。

- (1) パネル2・3でそれぞれ扱った飢饉の時期に起こった出来事について述べた文あ・いの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

あ パネル2で扱った飢饉の時期に、非暴力・不服従運動が展開した。

い パネル3で扱った飢饉の時期に、イタリアによるエチオピア侵略が始まった。

- ① あ—正 い—正 ② あ—正 い—誤
③ あ—誤 い—正 ④ あ—誤 い—誤

- (2) 2班は、パネル2・3を比較した結果を、メモにまとめた。メモ1・2の正誤について述べた文として最も適当なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

メモ1

パネル2で扱った飢饉は、年間降雨量1,000mm以下の地域かどうかに関わりなく起こった。パネル3で扱った飢饉は、1945年から2000年の期間の中で最も降雨量が多かった時期に発生した。

メモ2

パネル2・3の事例のいずれも、飢饉の深刻化には、経済または政治の状況が影響した。

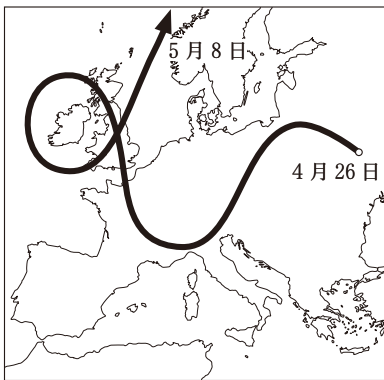
- ① メモ1のみ正しい。
② メモ2のみ正しい。
③ 二つとも正しい。
④ 二つとも誤っている。

歴史総合、日本史探究

問 4 3 班は、災害と環境汚染との関係に関心を持ち、20 世紀後半のヨーロッパの事例について調べて、レポート 1 を作成した。レポート 1 中の空欄 **ウ** に入る語句と、**エ** に入る文との組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **5**

レポート 1

地図



- ・地図中の矢印は、1986 年 4 月 26 日に起こったチョルノービリ(チェルノブイリ)原子力発電所事故に由来した放射性雲の一部が、5 月 8 日までに移動した経路を表す。
- ・当時、この原子力発電所があったウクライナは、**ウ** の構成国であった。

・地図を見ると、この事故による環境汚染は、**エ** ことが分かる。

- ① **ウ** — 独立国家共同体 (CIS)
エ — 特定の政治体制の地域においてのみ見られた
- ② **ウ** — 独立国家共同体 (CIS)
エ — 政治体制の違いにかかわらず、広い地域において見られた
- ③ **ウ** — ソ 連
エ — 特定の政治体制の地域においてのみ見られた
- ④ **ウ** — ソ 連
エ — 政治体制の違いにかかわらず、広い地域において見られた

B 次の授業で，各班では，災害への対応や，災害後の社会について，発展的に考えてみることにした。

問 5 1 班は，近代日本の水害と森林保全について調べ，レポート 2 を作成した。レポート 2 から読み取れる事柄や，その背景に関して述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

6

レポート 2

日本では江戸時代以来，森林の伐採が進み，各地ではげ山が見られた。その結果，明治時代には大規模な洪水が各地で相次いだ。これに対して政府は，オランダ人技師のデ＝レーケをはじめとするお雇い外国人の意見を聞きながら，森林や河川の保全に取り組んだ。

製糸業などの発展に伴って，燃料用の木材の生産量が増加したが，産業革命の過程で主要なエネルギー源が変化したことにより，1900 年頃から燃料用の木材の生産量は減少した。これによって，森林資源の減少に一定の歯止めがかけられた。

- ① 森林資源の減少に一定の歯止めがかかったのは，主要なエネルギー源が木材から石炭へと転換したためと考えられる。
- ② 気候変動に対する国際的な関心の高まりを背景に，デ＝レーケのような技師が外国から招かれ，森林や河川の保全を進めた。
- ③ 明治政府が近代産業の育成を進める中で，生糸の生産が拡大し，そのほとんどが国内で消費された。
- ④ 日本における森林破壊は，明治維新の後に始まり，森林や河川の保全の必要性を政府に認識させたと考えられる。

歴史総合，日本史探究

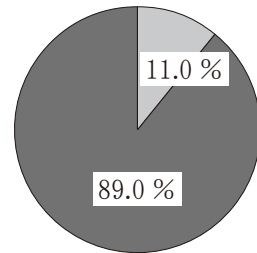
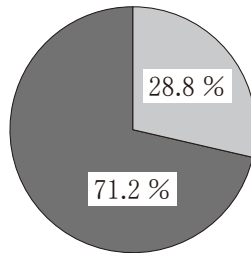
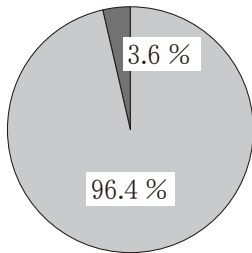
問 6 2 班は，災害からの復興に関心を持ち，諸外国からの関東大震災への復興支援に関する資料を基にグラフを作成した。グラフから読み取れる事柄あ～うと，グラフに示されたいずれかの国の当時の状況 X・Y とについて，最も適当なものの組合せを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。 7

グラフ 各国からの支援額とその内訳(1923年～1930年) (単位：1,000円)

ブラジル 計 306

中華民国 計 2,599

アメリカ合衆国 計 30,930



■ 「在留邦人」(当該国に居住する日本人)からの支援額

■ 「本国人など」(主に当該国に居住する日本人以外の人々)からの支援額

(東京市役所文書課『亜米利加合衆国震災義捐金及義捐品調査』より作成)

グラフから読み取れる事柄

- あ ブラジルからの支援額における「本国人など」の割合は，アメリカ合衆国からの支援額における「在留邦人」の割合と比べ，高い。
- い 中華民国では，「在留邦人」の支援額が，「本国人など」を上回っていた。
- う アメリカ合衆国からの支援額は，3か国の中で最も多額であった。

当時の状況

- X 日本からの移民が禁止されるなど，排日的な動きがあった。
- Y 関東大震災後に，五・四運動が発生した。

- ① あ－X ② あ－Y ③ い－X
- ④ い－Y ⑤ う－X ⑥ う－Y

問 7 3 班は、被災地で歴史資料の保全活動を行う民間団体(史料ネット)があることを知り、民間団体と政府の動きを表 2 にまとめた。表 2 中の空欄 **オ**・**カ** に入る語句の組合せあ・いと、表 2 から読み取れる事柄 X・Y について、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 **8**

表 2

1995 年	オ 発生。その被災地で史料ネットが結成され、国などから指定を受けていない文化財を含む歴史資料を保全。
2003 年	宮城県北部地震発生。宮城県で史料ネット結成。
2004 年	内閣府等の検討委員会が、 まとめ で文化財の保全に言及。 新潟県中越地震発生。新潟県で史料ネット結成。
2005 年	岡山県で史料ネット結成。
2010 年	福島県で史料ネット結成。
2011 年	カ 発生。その被災地で史料ネット結成。
2012 年	徳島県で史料ネット結成。

「災害から文化遺産と地域をまもる検討委員会」まとめの内容(一部) ←

保全対象の文化遺産は、世界遺産、国宝、重要文化財等の指定されたものだけでなく、未指定の文化遺産も含め地域の核となるようなものとする。

オ・**カ** に入る語句の組合せ

- あ オー 阪神・淡路大震災 カー 東日本大震災
い オー 東日本大震災 カー 阪神・淡路大震災

表 2 から読み取れる事柄

- X 史料ネットはいずれも、大きな震災で被害が発生した年に結成された。
Y 民間団体と政府のそれぞれで、指定の有無にかかわらず、地域の文化財を保全する動きが見られた。

- ① あーX ② あーY ③ いーX ④ いーY

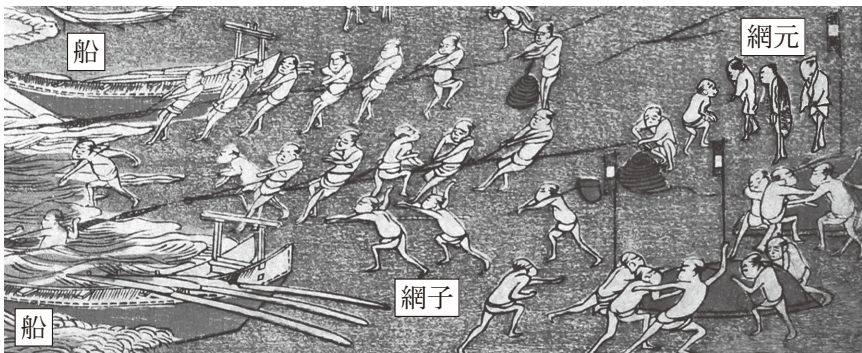
歴史総合，日本史探究

第2問 ミチさんとダイさんは，日本の漁業の歴史について調べることにした。後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 15)

問1 二人は，江戸時代の地引(地曳)網漁を描いた図1を見つけた。図1に関して述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

9

図1 『上総九十九里地引網大漁獵正写之図』(江戸時代後期)



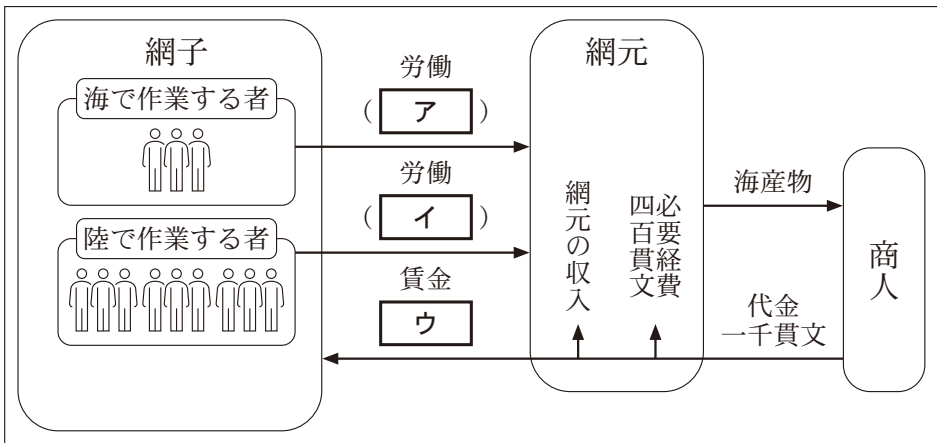
- ① この地域で大規模な地引網漁などの網漁法をもたらしたのは，東北地方の漁民であった。
- ② この地域で地引網漁が発達した背景には，肥料としての干鰯の需要が増大したことがあった。
- ③ この地引網漁の網元は，場所請負制で経営を請け負った商人で，現地の住民を網子として使役していた。
- ④ 長崎貿易で俵物が新たな輸出品となったことで，この地域の地引網漁はさらに活況を呈した。

問 2 二人は，図 1 の漁業が多くの人々によって成り立っていることに興味を持ち，図 1 の地域で地引網漁を行っていたある網元の事例について調べたことをノート 1 にまとめ，さらにその内容を整理するために図 2 を作成した。図 2 中の空欄 **ア** ～ **ウ** に入る語句の組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。 **10**

ノート 1 ある網元の下で行われていた漁業の仕組み

- ・網元は，漁場・漁船・網などを全て手配する。
- ・網元に雇われ漁場で働く人々は網子と呼ばれる。網子には，船を使って海で作業する者と，陸で作業する者がいる。
- ・海産物は網元が一括して商人に売却する。漁場や道具にかかる必要経費を代金から差し引いて，その残りの半分が網元の収入になる。
- ・残った金額が，網子の賃金として分配される。

図 2 海産物の代金が一千貫文の場合

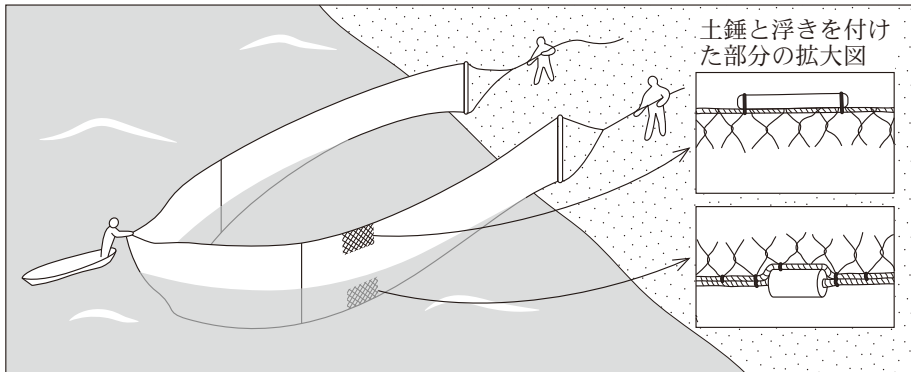


- | | | | |
|---|----------|----------|--------|
| ① | アー網を仕掛ける | イー網を引く | ウー三百貫文 |
| ② | アー網を仕掛ける | イー網を引く | ウー六百貫文 |
| ③ | アー網を引く | イー網を仕掛ける | ウー三百貫文 |
| ④ | アー網を引く | イー網を仕掛ける | ウー六百貫文 |

歴史総合，日本史探究

- 問 3 ミチさんは網の操作に不可欠な^{すい}錘(おもり)について調べ，**図 3**を見つけ，ノート 2 にまとめた。**図 3** やノート 2 に関して述べた文として**適当でないもの**を，後の①～④のうちから一つ選べ。 11

図 3 弥生時代後期から古墳時代前期の地引網漁(復元図)



(真鍋篤行「遺物による網漁具の復元」より作成)

ノート 2

- ・縄文時代の遺跡から，漁具として用いられた石錘や土錘が出土している。
- ・弥生時代前期に^{ひも}網紐を通せる管状の土錘が大陸から伝わり，この形の土錘を使って弥生時代後期に**図 3**のような網漁が始まったと推測される。
- ・**図 3**では，網の下部に土錘を付けている。上部には木で作った浮きを付けて，網の高さを適切に保っている。
- ・土錘は網漁の方法や規模に応じて多様化し，近代まで用いられた。

- ① 縄文時代の遺跡から，魚や貝を食べる当時の生活が分かる。
- ② 管状の土錘が伝わった時期に，丸木舟が作られるようになった。
- ③ 弥生時代後期には，土錘とともに浮きが地引網漁に利用されていたと推測できる。
- ④ 土錘の変遷を見ることで，網漁の歴史をたどることができる。

問 4 ダイさんは、鎌倉時代の荘園に関する資料の中に網漁が行われていたことが推測できる記述を見つけた。資料中の空欄 に入る語句あ・いと、資料から読み取れる内容 X・Y とについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

資料 1239 年の伊予国弓削島^{ゆげのしまのしょう} 荘の年貢物の報告(漁業関係を抜粋)

一、公物分^{くもつぶん} 鯛の干物 100 匹 塩漬けの鯛 100 匹 牡蠣^{かき} 8 桶
 一、預所得分^{よそとくぶん} 鯛の干物 100 匹 塩漬けの鯛 100 匹 牡蠣 10 桶
 預所の網 2 帖

ただし、近年は が横領してしまい、預所の網は 1 帖だと聞いている。

近年、関東の が置かれるようになってからは、年貢物は以前と同じようにはそろわなくなったと聞いている。

(『東寺百合文書』)

空欄 に入る語句

あ 国 司

い 地 頭

資料から読み取れる内容

X 「公物分」とある品目は、弓削島荘から荘園領主に上納された。

Y 「預所得分」とある品目は、弓削島荘から朝廷に上納された。

① あ－X

② あ－Y

③ い－X

④ い－Y

歴史総合，日本史探究

- 問 5 二人は，これまでの学習を踏まえ，日本の漁業について調べたことや考察したことをノート3にまとめた。ノート3中の下線部①・②の正誤について述べた文として最も適当なものを，後の③～④のうちから一つ選べ。 13

ノート3

縄文時代 ① 海面の上昇により，入り江の多い日本列島が形成され，漁労の発達が促された。

鎌倉時代 資料の荘園では網漁が行われ，年貢が漁獲物で納められていた。漁獲物を加工することで運びやすくしたのだろうか。

江戸時代 網元が経営する大人数での地引網漁が実施された。

② 漁業の現場においても階層区分が見られ，商品流通の発展のなかで，組織化された漁業が行われた。

- ① 下線部①のみ正しい。 ② 下線部②のみ正しい。
③ 下線部①・②とも正しい。 ④ 下線部①・②とも誤っている。

歴史総合，日本史探究

第3問 マヤさんとヒデさんは，「歴史と資料」という学習の一環として，先生を交えて絵画資料の読み取りに挑戦した。次の会話A・Bを読み，後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 15)

A

先生：図は，ある事件を題材にして描かれた絵巻物の一場面です。この事件の推移を整理した表も参考にしながら，どのような事件について描かれたものかを考えてみましょう。

図 『伴大納言絵巻』の一場面

マヤ：図中の一行はどのような人たちなのでしょう。

先生：**ア**に着目すると，この一行は検非違使だと推測できます。

マヤ：検非違使は**イ**でしたね。

先生：そうです。もともと律令制では五衛府などが犯人の逮捕にあたっていましたが，この時期には検非違使が担当していました。

ヒデ：そうか。図は伴善男を捕らえにきた場面なんですね。



表 『日本三代実録』に記された事件関係記事

月 日	内 容
閏3月10日	応天門に火がつき，それに連なる建物にも延焼した。
8月3日	伴善男らが応天門を焼いたとの通報があった。
8月7日	勘解由使の役所において，伴善男の取調べが行われた。
8月19日	太政大臣に命じて，天下の政治を撰 ^と らせた。
9月22日	伴善男や共謀した者たちが流刑に処された。

マ ヤ：ところで，㉑表中の太政大臣は，この事件に関わった藤原氏の人物
で，他の政争にも関係していますね。

ヒ デ：古代の政争は，政治の転換につながることも多いですよ。

先 生：なるほど。ちなみに㉒二人が重要と考える古代の出来事は何ですか。

問 1 会話文中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る語句の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **14**

- | | |
|---------------------|---------------|
| ① ア — ㉑中の一行の装備 | イ — 令に規定のある官職 |
| ② ア — ㉑中の一行の装備 | イ — 令に規定のない官職 |
| ③ ア — 表中の取調べが行われた場所 | イ — 令に規定のある官職 |
| ④ ア — 表中の取調べが行われた場所 | イ — 令に規定のない官職 |

問 2 下線部㉑に関連して，この事件に関わった藤原氏の人物の説明あ・いと，その人物が関係した他の政争 X ・ Y について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 **15**

藤原氏の人物の説明

あ 二つの律令の編纂へんさんに関わり，天皇の政治を支えた。

い 幼少で即位した天皇の外祖父として，政治の実権を握った。

その人物が関係した他の政争

X 橘氏や伴氏の人物が処罰され，新たな皇太子が立てられた。

Y 宇多天皇に重用された人物が，策謀により大宰府に左遷された。

- ① あ — X ② あ — Y ③ い — X ④ い — Y

歴史総合，日本史探究

問 3 下線部①に関連して，二人は古代の出来事のうち，政治の転換の契機となった出来事あ・いを挙げた。後の(1)・(2)に答えよ。

- あ 7世紀半ばに，大臣として権勢を振るった一族の父子が滅ぼされた出来事
い 太上天皇と天皇の遷都をめぐる対立から，太上天皇の側近が殺害されたり自害したりした出来事

(1) まず，二人が挙げた出来事あ・いのうちから一つ選び，あを選択する場合には①を，いを選択する場合には②をマークせよ。なお，(1)で①と②のいずれを選んでも，(2)の問いについては，それぞれに対応する適当な選択肢がある。

16

(2) 次に，(1)で選択した出来事が政治の転換の契機と考えられる理由として最も適当なものを，次の①～⑥のうちから一つ選べ。 17

- ① この出来事により，八つの姓が定められ，豪族の身分秩序が再編成されたから。
- ② この出来事により，都が近江に遷され，最初の全国的戸籍が作られたから。
- ③ この出来事により，僧侶が太政官の頂点に立ち，仏教中心の政策がとられたから。
- ④ この出来事により，摂政または関白が常置されるようになったから。
- ⑤ この出来事により，地方行政組織である評の設置などの政治改革が進められたから。
- ⑥ この出来事により，天皇の命令が蔵人所を通して太政官に伝達されるようになったから。

B

先生：『伴大納言絵巻』の成立や内容についても、考える必要がありそうですね。この絵巻物の成立と同時期には『源氏物語絵巻』『信貴山縁起絵巻』などが作られています。これらの絵巻物は、絵とそれを説明する詞書が交互につながり、話が展開することが特徴ですね。資料1・2も用意したので、あわせて考えてみましょう。

マヤ：資料1中の「巨勢金岡」が気になります。巨勢金岡は、この絵巻物の題材となった事件が起こった時期に活躍した絵師のようですね。

ヒデ：私は資料2に興味があります。この資料に登場する「我れ」とは伴善男のことですね。「信の大臣」が失脚すれば、自分が大臣になれると考えていたのかな。

資料1 『看聞日記』1441年4月26日条

若狭国の松永荘にある新八幡宮に絵巻物があるという話を聞いた。(中略)伴大納言絵巻一卷は、巨勢金岡の作といわれている。

資料2 『伴大納言絵巻』の詞書

応天門を焼きて、信の大臣(注1)に負^おおせて、かの大^お大臣を罪せさせて(注2)、一の大納言(注3)なれば、我れ大臣にならんと構えける事の、却^{かえ}りて罪せられけん、いかに悔しかりけん。

(注1) 信の大臣：左大臣源信のこと。はじめ応天門放火の嫌疑をかけられる。

(注2) 罪せさせて：ここでは罪に陥れるという意味。

(注3) 一の大納言：大納言の筆頭。大臣の座に空席が生じた場合、大臣となる可能性が高い。

歴史総合，日本史探究

問 4 二人は，資料 1・2 について考察したことをメモにまとめた。メモ 1・2 の正誤について述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

18

メモ 1

『伴大納言絵巻』の成立した時期に着目すれば，絵巻物の作者を巨勢金岡だとする資料 1 の記述は，事実だと言える。

メモ 2

資料 2 の作者は，伴善男が応天門に放火したと考えた上で，善男の心境についても推測している。

- ① メモ 1 のみ正しい。 ② メモ 2 のみ正しい。
③ メモ 1・2 とも正しい。 ④ メモ 1・2 とも誤っている。

問 5 学習のまとめとして，二人は文字資料と絵画資料を活用して歴史を考える作業を行った。作業を行うなかで持った疑問あ・いと，それぞれに対する考察 W～Z について，組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

19

疑 問

- あ 『古事記』『日本書紀』が編纂された背景には何があるのだろうか。
い 絵画資料から庶民の日常生活を知ることができるだろうか。

考 察

- W 『古事記』『日本書紀』が編纂された背景には，律令国家の確立に伴う国家意識の高まりがあった。
X 『古事記』『日本書紀』が編纂された背景には，天皇親政による律令体制の復興を目指す動きがあった。
Y 京都の市中と郊外の名所や風俗が描かれた屏風を調べることで，庶民の日常生活を知ることができる。
Z 人物を写實的に描いた似絵を調べることで，庶民の日常生活を知ることができる。

- ① あ—W い—Y ② あ—W い—Z
③ あ—X い—Y ④ あ—X い—Z

歴史総合，日本史探究

第4問 日本史探究の授業で、カイリさんのグループは、中世における女性と政治との関わりをテーマに探究を行った。次の文章A・Bを読み、後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(配点 15)

A カイリさんたちは、北条政子と日野富子に着目して資料1～3を集めた。

問1 北条政子の評価に関する資料1・2について述べた文として最も適切なものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 20

資料1 天台僧慈円が書いた歴史書『愚管抄』

将軍源実朝の世となったが、母の政子が生きていたので、実質は政子の世であった。(中略)日本は女人在政治の最後の仕上げをする国であるということが、本当のことになったのだ。

資料2 一条兼良が将軍足利義尚に政道を説いた書『樵談治要』

この日本国はもともと姫氏国といって、女が治める国である。(中略)近い世では、鎌倉の右大将の正妻尼二位政子は北条時政の娘で、二代の将軍の母である。(中略)右大将が亡くなった後はもっぱら尼二位が鎌倉を支配して立派に政治をし、承久の乱の時には義時が彼女の呼びかけを各地の御家人に伝えた。

- ① 資料1中の「将軍源実朝の世」に、北条政子は和田義盛を侍所の長官に任じた。
- ② 資料2から、北条政子の呼びかけは北条義時を通じて六波羅探題にも伝えられたことが分かる。
- ③ 資料1・2ともに、北条政子が鎌倉幕府の実権を握ったと評価している。
- ④ 資料1・2ともに、13世紀に成立した、北条政子に関する資料である。

問 2 カイリさんたちは、日野富子に関する資料 3 について調べ、従来と現在とで日野富子の評価が変わったことを知り、ノート 1 にまとめた。資料 3 やノート 1 について述べた文あ・いの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。

21

資料 3 興福寺大乘院の尋尊の日記(1477 年 7 月 29 日条)

日野富子は天下の政治を執っているの、莫大な錢をお持ちである。金利を取って自軍の大名小名たちに貸し付けている。この世の錢は全て、この方のところにあるように思われる。

ノート 1

【日野富子の評価の変化】

- ・従来の研究は、資料 3 に見られるような積極的な幕政への関与や金融活動を、否定的に捉えて「悪女」と評価してきた。
- ・現在の研究では、富子が政治に積極的に関わったのは、夫の足利義政が幕府の政務を放棄した時期であることや、彼女の金融活動は幕府財政の運用に不可欠であり、貸し付けた相手への経済支援ともなっていたことが明らかになっている。

あ 日野富子が行った錢の貸し付けは、味方の武士を助ける意味もあった。
 い 資料 3 中の「自軍の大名小名」が戦いに参加した結果、当時の将軍と対立した鎌倉公方が滅ぼされた。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① あ—正 | い—正 | ② あ—正 | い—誤 |
| ③ あ—誤 | い—正 | ④ あ—誤 | い—誤 |

歴史総合，日本史探究

- B カイリさんたちは，将軍の妻以外の中世の女性にも着目して，鳥羽上皇の娘八条院(暲子内親王)について調べて議論をし，ノート2にまとめた。

ノート2

【八条院(1137年～1211年)について】

1161年に「八条院」の院号を宣下された。㉔鳥羽上皇が院政を行っていた時期に，八条院は，上皇から譲られた所領を中心に自身の所領群を形成した。それらは㉕八条院領と呼ばれ，八条院の死後，彼女の養子に譲られた。

【八条院についての考察】

八条院には，北条政子や日野富子のような政治力があつたのだろうか。

■八条院には政治力がなかつたと考える意見

八条院の所領は，鳥羽上皇の死後も八条院の生涯を通じて大きく増えた。このことから分かるのは八条院が **ア** ことであり，政治力とは直接結びつかない。

■八条院には政治力があつたと考える意見

八条院は，弟の近衛天皇が亡くなった際には天皇の候補に挙げられた。また，治承・寿永の内乱期には以仁王の子を保護したことで， **イ** につながる姿勢を示している。これらのことから，八条院には政治力があつたと考えられる。

- 問3 ノート2中の空欄 **ア** ・ **イ** に入る文の組合せとして正しいものを，次の①～④のうちから一つ選べ。 **22**

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ① ア — 多くの資産を持っていた | イ — 平氏政権との協調 |
| ② ア — 多くの資産を持っていた | イ — 平氏政権との対立 |
| ③ ア — 開発領主であつた | イ — 平氏政権との協調 |
| ④ ア — 開発領主であつた | イ — 平氏政権との対立 |

問 4 下線部㉔に関して述べた文あ・いと、下線部㉕に関して述べた文X・Yとについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

23

下線部㉔に関して述べた文

- あ 国司が知行国主として一国の支配権を握る知行国の制度が広まった。
- い 院庁下文や院宣が、国政に大きな影響を及ぼした。

下線部㉕に関して述べた文

- X 八条院領が形成された時期には、耕地に加えて山・川などを取り込んだ領域型荘園が各地に見られた。
- Y 八条院領と同様の性格をもつものとしては、後鳥羽上皇の所領を基とする長講堂領がある。

- ① あ－X ② あ－Y ③ い－X ④ い－Y

歴史総合，日本史探究

問 5 カイリさんたちは中世を対象にした探究を踏まえて，女性が政治に関わることに対する江戸時代の考え方を調べ，ノート 3 にまとめた。ノート 3 や江戸時代の女性に関して述べた文として最も適当なものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

24

ノート 3

- ・女性が主導権を握った家や国は滅びることを意味する「牝鶏ひんけい晨あしたす」という言葉は，儒教の根本経典の中に見える。
- ・「牝鶏晨す」という考え方は，17 世紀後半に書かれた教訓書でも言及されるようになる。
- ・17 世紀後半に入ると，中国の女性伝の要約や和訳が出版され始め，男性を支えることが女性の美德とされるようになる。
- ・同じ頃に，「牝鶏晨す」という言葉を引用し，女性と政治との関係を戒める箇条を入れた武家家訓も現れる。

- ① 「牝鶏晨す」という言葉は，日本に初めて儒教が伝来した平安時代に，日本に伝わったと考えられる。
- ② 「牝鶏晨す」という考え方は，社会が不安定になり，武力が必要になり始めた時期の日本で普及したと考えられる。
- ③ 江戸時代には，『女大学』などの女性を対象とした教訓書において，夫婦間の平等が説かれた。
- ④ 江戸時代には，女性の労働は経済的・社会的に重要であったが，政治においては女性は遠ざけられる傾向にあった。

第5問 教科書に掲載された天守の写真に魅了されたマチさんのグループは、近世の城郭に着目して調べてみることにした。マチさんたちが作成したノートを読み、後の問い(問1～5)に答えよ。(資料には、省略したり、改めたりしたところがある。)(配点 15)

ノート

近世の城郭の主な特徴

- ・ 巨大な石垣が築かれ、何重もの堀がめぐらされていた。
- ・ 天守は、領主の威光・権威を広く示した。
- ・ 各地の城下町は都市として発展した。

気付いたこと

- ・ 近世の城郭が誕生した背景には、㉔ 中世から近世へ移行する時期の政治や社会の変化があった。
- ・ 安土城や大坂城は、㉕ 桃山文化を代表する建築物だった。
- ・ ㉖ 江戸幕府は、大名の城郭を統制して、その軍事力を抑えようとした。

問1 下線部㉔に関して述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。 25

- ① 武士は、平時は農村に居住するが、戦時には城郭の周囲に与えられた屋敷に集住して防衛にあたるようになった。
- ② 新しい武器として鉄砲が普及し、鉄砲隊の編成など集団戦術が用いられるようになった。
- ③ ヨーロッパ人が日本近海に來航するようになり、それに対応するため、海岸に大砲を備えた台場を築くなど、防備が強化された。
- ④ 織豊政権が誕生して、荘園が解体されて惣村が全国各地に成立したことにより、大量の人員を動員する体制が整った。

歴史総合，日本史探究

問 2 下線部①について，マチさんたちは，桃山文化の二つの特徴に着目して考察した。桃山文化の特徴あ・いと，それぞれの具体的な内容として最も適当なものW～Zとについて，組合せとして正しいものを，後の①～④のうちから一つ選べ。

26

桃山文化の特徴

- あ 権力者・豪商を主たる担い手とする，豪華で壮大な文化
- い 対外交流の活発化に伴う，国際色豊かな文化

具体的な内容

- W 建物の中のふすま・壁・天井・屏風に，金地に青や緑といった濃い色彩を用いた絵が描かれた。
- X 絹の生地に繊細な絵模様を描くことのできる友禅染が京都で生み出され，華麗な着物が流行した。
- Y ヨーロッパから金属製の活字を用いた印刷技術が伝わり，宗教書や日本古典，辞書などがローマ字で出版された。
- Z 蘭学が盛んになり，西洋の科学知識を学んだ多才な人物が，洋画の技法を用いて油絵や銅版画を制作するようになった。

- | | | | |
|-------|-----|-------|-----|
| ① あ－W | い－Y | ② あ－W | い－Z |
| ③ あ－X | い－Y | ④ あ－X | い－Z |

- 問 3 下線部㉔に関連して、マチさんたちは1615年の資料を見つけ、その性格を考察した。さらに、資料から読み取れる内容に関わる別の資料を見つけた。資料の性格を説明した文あ・いと、資料から読み取れる内容に関わる別の資料X・Yとについて、最も適当なものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。

27

資料 大名家に伝来した文書

上様の御城々、又御譜代衆(注1)の城ばかり御残しなされ、そのほか日本国の城、一つも残さず御割りなさるべしとも申し候。又、所によりぬし(注2)により、一つずつは御残しなさるとも申し候。又、かいもく(注3)雑説(注4)も知れず候事。

(『綿考輯録』)

(注1) 御譜代衆：譜代大名のこと。

(注2) ぬし：領主のこと。

(注3) かいもく(皆目)：全く。

(注4) 雑説：様々なうわさ。

資料の性格

あ 資料は、大名に対して出された幕府の法令だと考えられる。

い 資料は、大名が入手した伝聞情報を記したものだと考えられる。

資料から読み取れる内容に関わる別の資料

X 諸国の居城、修補をなすと雖も必ず言上すべし。況や新儀の構営、堅く停止せしむる事。

Y 貴殿御分国中、居城をば残し置かれ、そのほかの城は悉く破却あるべきの旨、上意に候。

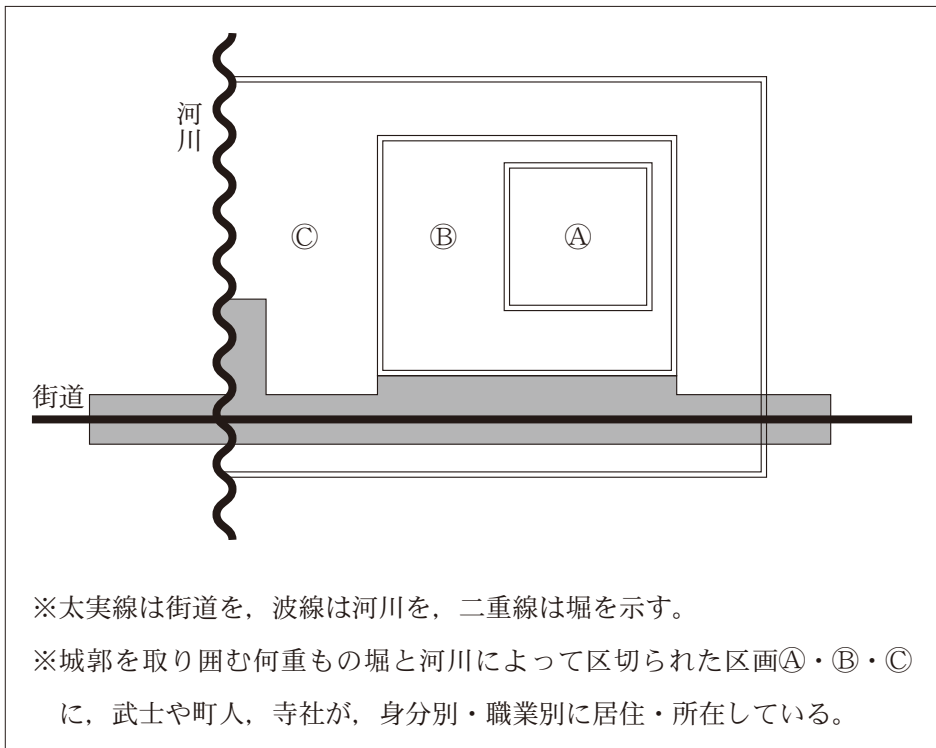
- ① あ—X ② あ—Y ③ い—X ④ い—Y

歴史総合，日本史探究

問 4 規模の大きな城下町を伴うことが，近世の城郭の重要な特徴であると考えたマチさんたちは，いくつかの絵図を基に，地方の城下町を平面的に示した**概念図**を作成した。**概念図**に関して述べた文あ～えについて，正しいものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。

28

概念図



- あ 天守のそびえる区画④には、城主や領民が信仰する寺社が集められていた。
- い 区画③に沿って流れる河川は、城郭の防衛線としての役割を果たしつつ、物資流通の動脈としても機能していた。
- う 概念図中の灰色の部分は、街道との関係に注目すると、城下町の防御の観点から設置された武家地であることが分かる。
- え 概念図中の灰色の部分は、街道との関係に注目すると、商業に都合の良い場所に立地する町人地であることが分かる。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

問 5 城郭に着目することで様々なことを考察できることに気が付いたマチさんたちは、城や館の歴史についてまとめた。城や館について述べた文として**適当でないもの**を、次の①～④のうちから一つ選べ。

29

- ① 飛鳥時代の朝鮮式山城は、蝦夷に対する軍事的な拠点として朝廷によって築かれた。
- ② 鎌倉時代の武士の館は、所領内の要地に築かれ、堀や塀をめぐらしており、周囲に直営の耕地がおかれることがあった。
- ③ 戦国大名の居館・居城の周辺に建設された城下町は、領国経済の中心としての役割を担うようになった。
- ④ 近世に築かれて現存する各地の城郭は、地域の歴史を示す文化財であり、なかには世界文化遺産に登録されたものもある。

歴史総合，日本史探究

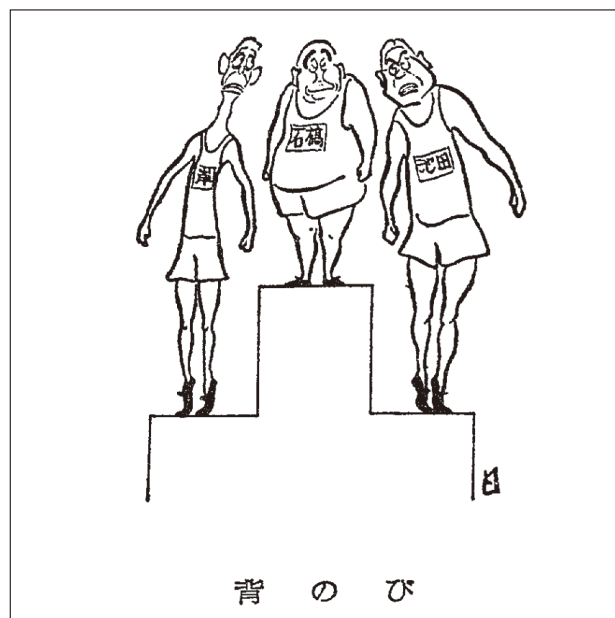
第6問 ミヅキさんとリョウさんは，近現代の日本における政治的リーダーシップについて考察することにした。次の会話を読み，後の問い(問1～5)に答えよ。
(資料には，省略したり，改めたりしたところがある。)(配点 15)

ミヅキ：首相がリーダーシップを発揮する場面といえば，私は外交を思い浮かべるな。①1990年代以降に首相が関わった外交について調べてみると，首脳同士のやりとりによる重要な決定があったり，海外の首脳と並ぶ写真が見つかるね。首相がリーダーシップを発揮するにはどうすればいいんだろう？

リョウ：首相が強い権限を持つことが一つの方法なんじゃないかな。1990年代の政治・行政の改革もあって，55年体制の時期と2000年代以降とを比べると，首相と与党との力関係が変化しているよね。

ミヅキ：②石橋湛山内閣の発足に関する風刺漫画(資料1)を見ると，中央にいる石橋に対して左右の二人(岸信介，池田勇人)が背伸びをして頭を並べようとしているのが分かるよ。

資料1



(『読売新聞』1956年12月25日)

リョウ：どうして二人は背伸びをしているように描かれたんだろう。二人とも確か石橋内閣の閣僚になるよね。

ミヅキ：石橋首相をよそに岸と池田が競い合っている姿を描くことで、この党の内部対立の激しさを表現したんじゃないかな。二人より石橋の方が小柄に描かれているのは、首相の存在感の小ささを描こうとしたのかもしれないよ。

リョウ：そういえば政党内閣期を経て、戦前に㉔軍部の政治的台頭を抑えられなかった反省から、戦後には首相の力が強くなったんじゃないかな。

ミヅキ：㉕戦前の首相だって力を振るった人もいたと思うよ。実際に力を振るえるかどうかは、首相を取り巻くその時々環境も重要なんじゃないかな。

問 1 下線部㉔に関連して、ミヅキさんは 1990 年代に日本の国際貢献のあり方が問題となっていたことを知った。そして、55 年体制末期に成立した、国連平和維持活動への自衛隊の派遣を可能にする法律に着目した。この法律が成立した背景について述べた文あ・いの正誤の組合せとして正しいものを、後の①～④のうちから一つ選べ。 30

あ 自由民主党・日本社会党・新党さきがけの連立政権の下で、日本社会党は自衛隊に関する党の基本方針を転換した。

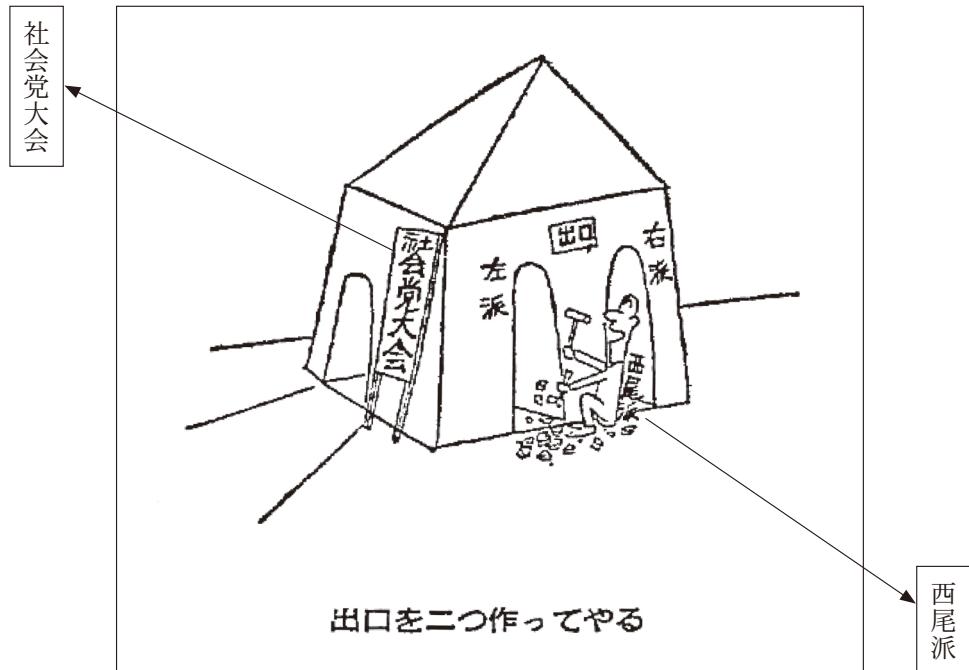
い 湾岸戦争を契機として、資金協力以上の国際貢献を求められた。

- | | |
|--------------|--------------|
| ① あ—正 い—正 | ② あ—正 い—誤 |
| ③ あ—誤 い—正 | ④ あ—誤 い—誤 |

問 2 下線部㉕に関連して、二人はさらに 1950 年代後半の政党に関する風刺漫画(資料 2)を見つけて、資料 1 と比較することにした。会話文も参考にしながら、資料 1・2 について考察したことや、高度経済成長期の出来事に関して述べた文あ～えについて、正しいものの組合せを、後の①～④のうちから一つ選べ。 31

歴史総合，日本史探究

資料 2



(『読売新聞』夕刊 1959年9月11日)

- あ 資料1の政党は内部対立を抱えながらも政権を維持したのに対し、資料2の政党は、資料2の時期の後に一部が分裂して、別の政党を結成した。
- い 資料1の政党は内部対立から分裂し、他党と連立して政権を維持したのに対し、資料2の政党は安全保障政策をめぐる分裂していたが、資料2の時期の後に再統一した。
- う 革新勢力が支援する知事が大都市圏を中心に数多く誕生したが、高度経済成長が始まるとともに消えていった。
- え 公害や環境破壊が社会問題化し住民運動が各地で高まるなか、環境庁が発足した。

- ① あ・う ② あ・え ③ い・う ④ い・え

問 3 下線部㉔に関連して，首相と軍部の対立事例に関して述べた文Ⅰ～Ⅲについて，古いものから年代順に正しく配列したものを，後の①～⑥のうちから一つ選べ。

32

- Ⅰ 青年将校により複数の要人が暗殺された事件の後，軍部は政治的発言力を強め，新たに就任した首相に，軍部大臣現役武官制の復活や大幅な軍拡予算を認めさせた。
- Ⅱ 対米開戦回避を目指した首相の案に陸軍が反対したため，首相は退陣に追い込まれ，後任首相には陸軍大臣が就任した。
- Ⅲ 中国東北部で陸軍が鉄道線路を爆破して起こした軍事行動に対し，首相は不拡大方針を採ったが，陸軍はこれを無視して戦線を拡大し，中国東北部の主要地を占領した。

- ① Ⅰ — Ⅱ — Ⅲ ② Ⅰ — Ⅲ — Ⅱ ③ Ⅱ — Ⅰ — Ⅲ
- ④ Ⅱ — Ⅲ — Ⅰ ⑤ Ⅲ — Ⅰ — Ⅱ ⑥ Ⅲ — Ⅱ — Ⅰ

歴史総合，日本史探究

- 問 4 下線部①に関連して，リョウさんは，原敬内閣において首相が海軍大臣の事務を管理したという事実を知り，『原敬日記』を調べ，その概要をノートにまとめた。ノート中の空欄 **ア** に入る文あ・いと，ノートに関して述べた文 X・Y について，最も適当なものの組合せを，後の①～④のうちから一つ選べ。 **33**

ノート

- ・ワシントン会議に，日本からは海軍大臣の派遣を決定。
原は不在中の大臣事務を自ら管理するという「新例を開く」意欲表明。
→ なぜ新例か…… **ア**
- ・原の事務管理に反対する陸軍には原が自ら働きかけ，同意を獲得。
原は「法規上にも海軍側にも異議なきもの」を陸軍の異論で決行しないようなら，「折角鎮静したる軍閥攻撃論も再燃」するだろうと主張。

空欄 **ア** に入る文

- あ 軍部大臣の役割を，軍人以外が担うことになるから。
い 軍部大臣の任用範囲が，現役ではない武官にも広がるから。

ノートに関して述べた文

- X ワシントン会議では，海軍の軍備を制限する条約，中国の主権尊重・領土保全などに関する条約，太平洋地域の現状維持を内容とする条約が結ばれた。
Y 原敬が指摘している「軍閥攻撃論」とは，山東出兵に対する陸軍閥への批判のことであると考えられる。

- ① あ－X ② あ－Y ③ い－X ④ い－Y

問 5 最後に二人は近現代を通観して、首相のリーダーシップや内閣の運営に影響を与えた組織や人物について考察した。首相・内閣と、組織・人物との関わりについて述べた文として最も適当なものを、次の①～④のうちから一つ選べ。

34

- ① 初期議会において、首相は予算を成立させるため、民党と継続的に協調関係を築いた。
- ② 政党を基盤とする初めての政党内閣の首相は、党内の派閥対立を克服して長期にわたり政権を担当した。
- ③ 恐慌で経営危機となった銀行を救済する緊急勅令案に、天皇の諮問機関が反対して、政党内閣を総辞職に追い込んだ。
- ④ 日本の民主化を進めた占領軍の後押しを受けて、独立回復までの間、戦前の無産政党の系譜をひく内閣が続いた。